

2021年3月12日

各位

ゲンダイエージェンシー株式会社  
代表取締役CEO 山本 正卓  
(コード番号: 2411)  
問い合わせ先 取締役CFO 高 秀一  
TEL 03-5308-9888(代表)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

コロナ禍におけるこれまでの月次業績の進捗を踏まえて、当期の業績予想を新たに見直した結果、2020年9月11日付「業績予想の修正に関するお知らせ」において発表いたしました2021年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

2021年3月期通期連結業績予想の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)(2020年9月11日発表)	7,500	△230	△240	△260	△17.28
今回修正予想(B)	7,150	△310	△300	△320	△21.26
増減額(B-A)	△350	△80	△60	△60	
増減率(%)	△4.7%	-	-	-	
(参考)前年同期(2020年3月期)実績	11,115	460	434	31	2.06

(修正の理由)

#### (1) 売上高の修正

当連結会計年度におきましては、2020年4月に全国に発令された第1回目の緊急事態宣言の影響により、当社グループの主力サービスである店舗施設の集客広告需要は極端に減少したことから、第1四半期においては、多額の損失計上を余儀なくされたものの、同宣言の解除後は、需要が急回復したことで、2020年7月には単月黒字へと転換し、同年12月までの間、業績は穏やかに回復いたしました。その結果、第3四半期末時点における業績は、前回発表予想を上回るペースで推移しておりました。

しかしながら、本年1月に入り、新たに11都府県に対して2回目の緊急事態宣言が発令された結果、クライアントである店舗施設への来店客数の減少や、対外的な集客広告の自粛が続いたこと等により、広告需要は一転して、再び急減しております。

その結果、当連結会計年度における売上高は、こうした2回目の緊急事態宣言による影響を織り込んでいない前回発表予想と比較して、350百万円減少する見込みであります。

#### (2) 営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失の修正

営業損失については、上述の売上高の減額修正に伴う販売マージンの減少により、前回発表予想比で、損失が80百万円増加する見込みであります。

また、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失については、主として営業損失の増加により、前回発表予想比で、損失が、それぞれ60百万円増加する見込みであります。

なお、本日付で2021年3月期における配当予想の修正を行っております。詳細は別途開示する「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上